

2021年7月19日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社  
(東証一部 / 証券コード: 3762)

## Java 対応テスト自動化ツール「Jtest 2021.1」の販売を開始

セキュアな Java プログラムの作成をサポートする静的解析機能を強化。

CWE ver.4.4 や OWASP API Security Top 10 2019 など 9 種類のセキュリティコンプライアンスに違反するコードを検出。

テクマトリックス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:由利孝、以下「テクマトリックス」)は、米国 Parasoft Corporation(本社:米国カリフォルニア州、最高経営責任者:Elizabeth Kolawa、以下「Parasoft 社」)が開発した Java 対応テスト自動化ツール「Jtest 2021.1」(以下「Jtest」)の販売を 2021 年 7 月 19 日より開始します。

「Jtest」は、静的解析機能と単体テスト支援機能によって、Java ソースコードの品質可視化と単体テストの効率化を強力にサポートする Java 対応テスト自動化ツールです。静的解析機能では、コーディングルール解析とフロー解析という 2 種類の解析方法で、ソースコードに潜む問題点を指摘します。コーディングルール解析では、2,000 個超のルールでソースコードを検証し、プログラム中の問題の未然防止や保守性の向上を支援します。フロー解析では、クラスやパッケージを横断する膨大な数の処理フローの中から、リソースリーク、セキュリティ脆弱性などのバグの可能性が潜む特定のフローを検出します。単体テスト支援機能では、Java 単体テスト用オープンソースフレームワークである JUnit で利用可能なテストテンプレートやモックを自動作成し、単体テストにかかる工数を削減します。さらに、Web ブラウザー上でダッシュボード表示によるさまざまな情報提供が可能なレポート機能も装備しており、リモートワーク業務下においてもプロジェクトメンバー間で効率的なソースコードの品質レビューが行える環境を提供します。

このたびのバージョンアップでは、静的解析機能が強化され、セキュアな Java プログラムを作成するためのコーディングルールが追加されました。CWE ver.4.4 や OWASP Top 10 2017、OWASP API Security Top 10 2019 といった、9 種類のセキュリティコンプライアンスに違反するコードを検出し、堅牢なプログラムの開発を強力にサポートします。また、Lombok を使用したプロジェクトに対する静的解析が可能になり、利用範囲が拡充されました。さらに、ブランチ間の差分を解析し、変更されたファイルだけを解析対象とする機能も追加され、解析時間の短縮が図られました。これにより、静的解析をもっと手軽に行えるようになり、プログラムの改修後の確認が容易くなります。Jtest の解析結果を集計・分析する Parasoft DTP を利用すると、CWE 4.4 や CWE Top 25 2020 に則った遵守サマリーレポートや逸脱のレポートをいつでも確認できるようになります。ガイドラインの遵守状況をタイムリーにレポートし、ソフトウェアの欠陥に起因するビジネスリスクの回避に貢献します。

テクマトリックスは、Parasoft 社製品の国内総販売代理店として、Java ソフトウェア開発に携わるすべてのお客様の課題解決に最適なツールとして、Jtest の販売、マーケティング、ユーザーサポートなどの活動を強化してまいります。

### 【Jtest 2021.1 の新機能・改善点】

- ・ **セキュリティコンプライアンスのルールを追加し、静的解析を強化**  
セキュリティ関連の静的解析のルールを追加しました。ソフトウェアの脆弱性を識別するための共通脆弱性タイプ一覧である CWE(Common Weakness Enumeration)の ver.4.4 や OWASP Top 10 2017、新たに OWASP API Security Top 10 2019 といった 9 種類のセキュリティコンプライアンスに対応しました。

## 【Jtest のセキュリティコンプライアンスルール】

- ・ OWASP Top 10 2017
- ・ OWASP API Security Top 10 2019
- ・ PCI DSS 3.2
- ・ CERT for Java
- ・ CWE 4.4
- ・ CWE Top 25 2020
- ・ CWE Top 25 +On the Cusp 2020
- ・ UL 2900
- ・ DISA-ASD-STIG

※ セキュリティコンプライアンスルールによる解析には、「セキュリティコンプライアンスパック」オプション(別売)が必要です。

## ・ Lombok の静的解析サポートを開始

Lombok を使用したプロジェクトを対象にして静的解析を実施できるようになりました。

## ・ GitHub 連携の拡張

GitHub Action に Jtest 実行のための Action が追加されました。これにより、GitHub Action から Jtest を実行できるようになりました。また、SARIF フォーマットのレポートの生成が可能になったため、Jtest で解析を実行し、GitHub 上で解析結果を確認できるようになりました。

## ・ 解析結果の抑制を外部ファイルで管理

Jtest では、Parasoft DTP から、あるいは、ソースコードに抑制コードを追記することで、静的解析の実行を抑制できます。本バージョンから、外部ファイルを使用した抑制も可能になりました。抑制内容を記述したファイルは、ソースコードとともにバージョン管理システムに保存し、管理することも可能になりました。

## ・ 特定ブランチとの差分を解析し、差分のあるファイルのみを検証

ブランチ間の差分を解析し、現在の作業ブランチで変更されたファイルのみを解析の対象とすることができるようになりました。これにより、コードをチェックインする前に最新のコードの変更でバグを検出し、修正することが可能になりました。

## ・ 単体テストアシスタント機能を強化

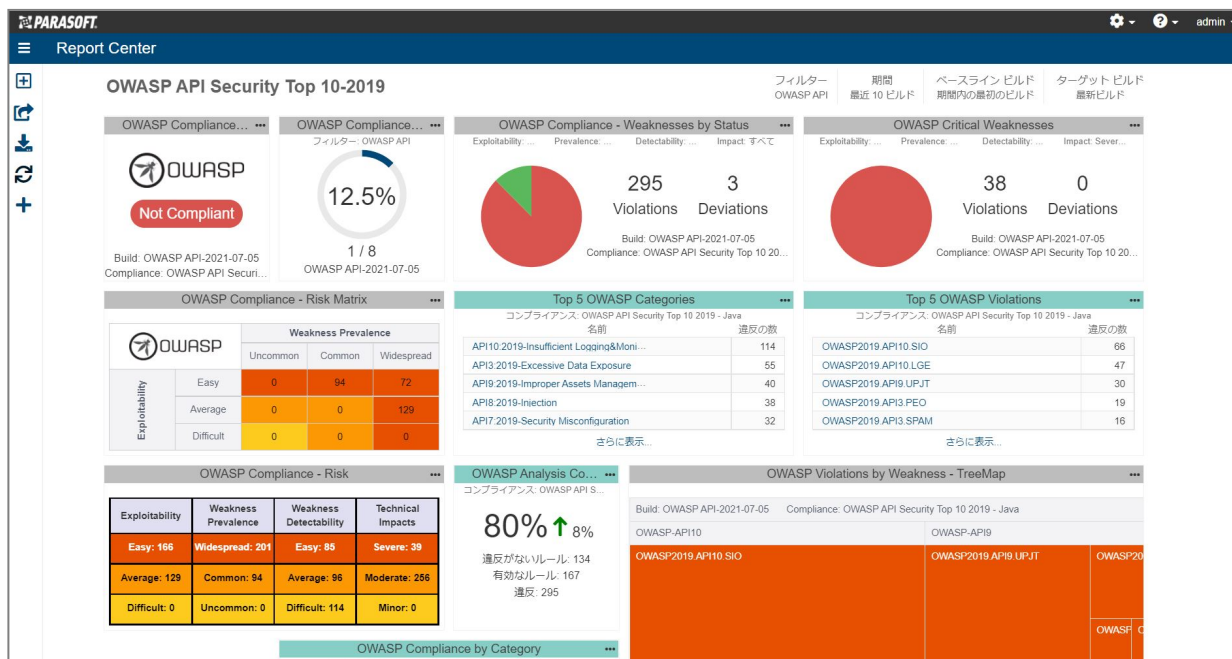
単体テストを効率化する、単体テストアシスタント機能が強化されました。JUnit 5 を使用したパラメータライズのテストができるようになりました。さらに、レポートの作成やカバレッジの計測時間が短縮され、カバレッジレポートのサイズが小さくなりました。このほか、ネストされたテストスイートの実行のサポート、Optional クラスのインスタンスを生成できるようになりました。

## 【Parasoft DTP 2021.1 (レポート機能) の新機能・改善点】

### ・ コンプライアンスの遵守を促進するパッケージを更新

Jtest の CWE Compliance アーティファクトで CWE List Version 4.4 がサポートされました。さらに CWE Top 25 2020 も追加されました。コンプライアンスパッケージを導入することにより、Jtest による静的解析の結果から OWASP Top 10 2017 や CWE 4.4、CWE Top 25 2020 に則った遵守サマリーレポートや逸脱のレポートをいつでも確認できるようになります。ガイドラインの遵守状況の説明責任を果たすことが容易になるだけでなく、未遵守箇所を早期に特定し必要な措置を講ずることにより、欠陥のあるソフトウェアに関連するビジネスリスクを排除することが可能になりました。

※ コンプライアンスパッケージを使用するには、「セキュリティコンプライアンスパック」オプション（別売）が必要です。



- 機械学習データの違反分類の精度向上**  
 機械学習データとして、追加のメタデータを送信できるようになりました。設定を有効化した場合、DTP へ送られた違反を分類する精度が向上します。

## 【稼働環境】

- Windows 64bit  
Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019
- Linux 64bit  
Linux glibc 2.12 以上
- プラグインできる統合開発環境  
Eclipse 4.4、4.5、4.6~4.18 (4.4、4.5 は非推奨です)、IntelliJ 2017.1~2020.3
- プラグインできるビルドツール  
Apache Maven3.0.3~3.6.x、Gradle 3.3~6.x、Apache Ant 1.7~1.9.14
- 解析対象の Java のサポート  
Java 1.3~Java 15

製品の詳細は Web ページをご確認ください。

URL: [www.techmatrix.co.jp/product/jtest/](http://www.techmatrix.co.jp/product/jtest/)

## 【販売開始日】

- ・ 販売開始日:2021年7月19日
- ・ 出荷開始日:2021年7月19日

2021年7月19日において、保守サービスをご契約いただいている Jtest のユーザー様には、「Jtest 2021.1」バージョンアップ製品を無償でご提供します。

## ■Parasoft Corporation について

Parasoft 社は、25年以上にわたり、ソフトウェアのバグがアプリケーションに混入する原因と仕組みを研究し、数々のソリューションを提供してきました。Parasoft 社のソリューションは、ソフトウェア開発ライフサイクルにおける継続可能なプロセスとして、品質改善活動を支援し、頑強なソースコードの実装、無駄がなく機能性の高いシステムの構築、安定したビジネスプロセスの実現を可能とします。数々の賞を受賞した Parasoft 社製品は、長年の研究成果と経験から得られたノウハウを自動化し、エンタープライズシステムから組込みソフトウェアまで、どのようなタイプのソフトウェア開発においても、生産性向上と品質改善を実現します。Parasoft 社のコンサルティングサービスは、ツールでは解決できない問題の解決や開発プロセスの改善など、Parasoft 社の25年以上の経験を直接お客様に提供し、お客様の改善活動を支援します。

詳細は Web サイト:[www.parasoft.com/](http://www.parasoft.com/) をご参照ください。

## ■テクマトリックス株式会社について

テクマトリックス(東証一部:3762)は、クラウドコンピューティング時代に技術革新をもたらす情報基盤技術のインテグレーションを提供する「情報基盤事業」と、ソフトウェア開発のベストプラクティスを駆使してアプリケーション開発を行なう「アプリケーション・サービス事業」を展開しております。ソフトウェアエンジニアリング分野では、20年にわたり、ソフトウェア品質向上をサポートする製品を海外より輸入し、日本国内に提供するためのローカライゼーション、コンサルティング、技術サポート、教育などさまざまな付加価値を付けてご提供しています。

詳細は Web サイト:[www.techmatrix.co.jp/](http://www.techmatrix.co.jp/) をご参照ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

テクマトリックス株式会社

ソフトウェアエンジニアリング事業部 Jtest 担当

E-mail : [parasoft-info@techmatrix.co.jp](mailto:parasoft-info@techmatrix.co.jp)

TEL : 03-4405-7853

\*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。